

令和7年度
教育に関する事務の管理及び執行状況の
点検・評価報告書



生涯学習フェスティバル

令和8年3月
出雲崎町教育委員会

目 次

	頁
はじめに	1
I 総合教育会議	3
II 教育委員会の会議及び活動状況	4
III 学校教育	
1 出雲崎小学校	7
2 出雲崎中学校	11
3 学校支援地域本部事業	15
IV 社会教育事業の実施状況	
1 社会教育・公民館事業	19
2 図書館事業	28
3 社会体育事業	31
V 学校・社会教育施設の整備充実	36
VI 学識経験者からの総合評価	37

はじめに

1 点検評価の公表

「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」第26条の規定により、教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行状況等について、学識経験者を活用して、毎年教育委員会自らが点検・評価を行い、その結果を議会に提出するとともに、公表することが義務付けられている。

本報告書は、これに基づき効果的な教育行政の推進に資するとともに、町民への説明責任を果たすため、令和7年度の出雲崎町教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行状況の点検・評価を行った結果を報告するものである。

2 学識経験者の知見の活用

令和7年度の点検・評価に当たっては、学識経験を有するものとして、元長岡市立東中学校長の佐藤忠弘氏（長岡市・旧三島町在住）から、第6次出雲崎町総合計画における教育関係の基本計画及び町教育計画を踏まえて、本年度事業及び次年度に向けて助言・指導を得た。

3 報告書の内容から見られる評価

- (1) 柳津町教育委員との研修は、計画を試みたが日程の調整がつかずやむなく中止とした。来年度以降も委員の資質向上に向けた研修機会を設けていく。
- (2) 確かな学力向上に向けて、更新された一人一台タブレットの有効活用を図りながら、小中学校ともに個別最適な学びと協働的な学びを進めている。
全国学力学習状況調査の結果では、小学校の国語と算数、理科ともに全国平均及び県平均を上回っており、中学校の国語と理科は全国平均及び県平均を上回り数学は県平均を上回っている。今後も基礎的基本的な内容を確実に定着させるとともに、活用する力を高めていく。
- (3) 学習指導、生徒指導の充実を図るため、教員補助員を小学校に4名、中学校に2名配置している。特に中学校では、数学と英語の授業における学習支援を行っている。さらに外国語及び外国語活動では、表現力、コミュニケーション力を身に付けさせるため、小3から中3までの授業に外国人英語指導員を配置している。
また、理科や数学に対する子どもたちの興味・関心を高め、学力を向上させるため、小3から小6の理科には、理科教育支援員を配置し、教員をサポートする体制の継続を図っている。また、小学校では教科担任制推進事業の加配教員を活用し、TTによる算数の授業を充実させている。
- (4) 社会教育活動では、「出雲崎総合大学」事業は、27年間継続している事業で参加者の満足度も高く喜ばれているが、今後も多彩な講座やセミナーを計画していく中で、身に付けた知識や技能を地域などで活かすよう「まなびアシスト人材バンク」への登録に努める。
- (5) 小学校児童の放課後の学びの場として、「放課後子ども教室」「放課後児童クラブ」をより安全に過ごし、多様な体験や活動を行うことができるように「放課後子ども総合プラン運営委員会」で、検証・評価を行っているが本年度は、両事業とも上手に連携がとれたことから開催しなかった。

- (6) 中学校部活動の地域展開に向けて、地域クラブによって休日の活動が行われている。地域の指導者による適切な指導により、生徒は生き生きと活動しており、参加者の満足度が高い。一方で、生徒数の減少への対応や指導者の確保など持続可能な制度となるようにしていく必要がある。

4 今後の点検・評価にかかる重点事項について

次年度は、特に次の事柄に配慮しながら、取組んで参りたい。

- (1) 児童生徒一人一台のタブレット端末の更新を行ったが、いかに有効適切に活用し、効果的な学習に結び付けるかが問われている。個別最適な学びと協働的な学びにつながる ICT を活用した授業づくりを積極的に進めることができるような研修体制の構築を図っていく。
- (2) 「出雲崎町架け橋期のカリキュラム」の実施、評価を通して保育園・こども園と小学校の連携を密にし、小1プロブレムの解消と滑らかな接続に取り組んでいく。それぞれの担当者による情報交換とともに、保育園・こども園と小学校の相互参観によって、全職員の意識を高めていく。
- (3) 総合的な学習の時間等では、良寛学習を継続して行い、児童生徒一人ひとりが学習資料をファイル化し、学習成果の継続性を図っていき、その成果を称え中学校卒業時に「良寛学習修了証書 慈愛」を授与し、「ふるさと出雲崎・郷土の誇りである良寛の心」をもち続ける学社連携事業を着実に進めていきたい。
- (4) 特別な支援が必要な児童生徒が増加傾向にあることから、特別支援教育の充実を図るため、介助員や教員補助員の配置により特性に応じた指導・支援を行い、一人一人の基本的な生活習慣の定着、コミュニケーションや社会性の向上を支援していく。学校側からも人的確保が充実されており喜ばれている。
- (5) 令和3年度から小学校で発達障害の通級指導教室が開設されたことに伴い、通常学級に在籍していながらも特別な支援を要する児童生徒が、町内で個々のニーズに応じた指導が受けられる体制が整備され運用されている。特別支援教育コーディネータ派遣事業と個別の指導計画の作成及びその活用によって、指導・支援の効果を高める。
- (6) 青少年の SNS に関わるトラブルが増加していることから、小・中学校において情報モラルの指導を充実させ、タブレット端末の正しい使い方と危険性についての指導を行う。また、保護者への啓発も進めていかなければならない。
- (7) 人口減少に伴う急激な少子化、小中学校の校舎等老朽化の課題の顕在化を受け、将来を展望した町立学校の新たな在り方を幅広い見地から検討するため新たに「町立学校の在り方検討委員会」を設置し、新たな枠組みによる新しい学校の形を検討していく。
- (8) 学校給食費の助成については、令和6年度に補助金に統一し、2年経過しました。今後、学校給食費無償化をするにあたり、食材費の高騰や物価動向の影響を注視しながら、安定的に質の高い学校給食を提供できるよう指導してまいります。
- (9) 町民が心豊かな人生をおくるため、「家庭・地域の教育力の向上」「家庭・地域・学校・行政が一体となった生涯学習の推進」「歴史・文化・芸術の振興」の3つを施策の柱として進めていく。青少年育成や成人の学習活動で教室、講座、イベントなど行政が行うものに加え、自主的な団体活動の学習機会の充実を図っていく。

I 総合教育会議

(1) 町長が招集する「総合教育会議」を令和7年6月16日に開催し、町長と出雲崎町の教育について意見交換を行い、教育現場の現状や児童・生徒の様子について話し合いを行った。

出席依頼者	出雲崎町長	仙海 直樹
	教育長	曾根 乗知
	教育委員	佐藤 正志
	教育委員	大磯多華子
	教育委員	宮田よしみ
	教育委員	松岡 聡
	教育課長	吉岡 育子
	管理指導主事	涌井 良平
	指導主事	加納 博志
	教育課主幹	金泉 嘉昭
	教育課課長補佐	高橋 聡

・意見交換の基となる教育長及び管理指導主事、指導主事からの説明事項

1 出雲崎町の教育の現状と課題について（教育長）

今年度の教育方針として、「令和7年度教育計画」及び「令和6年度点検・評価報告書」に基づき、以下の視点からの説明があった。

- (1) 令和の生涯学習社会実現に向けた生涯学習の推進
- (2) 学校教育における学力向上と生徒指導充実の両立
- (3) 社会教育の成果と課題

2 出雲崎町立小・中学校の現状と課題について（管理指導主事、指導主事）

学校教育現場から見た状況等の説明があった。

- (1) 学習指導・生徒指導の取組
- (2) 保育園・こども園、小学校、中学校の連携
- (3) 教職員の働き方改革
- (4) GIGAスクール構想の推進
- (5) 地域クラブ活動体制整備事業の推進

3 「地域と共創する学び舎」の整備について（教育長）

町長から求められている少子化や校舎の老朽化等に関する課題を整理した資料をもとに説明があった。

- (1) 学校を取り巻く現状と課題
- (2) 町が目指す「地域と共創する学び舎」とは
- (3) 「地域と共創する学び舎」建設の進め方

・説明をもとに、町長と参加者で質疑応答及び意見交換を行った。

II 教育委員会の会議及び活動状況

(1) 定例会および臨時会の開催（定例会 5 回、臨時会 3 回）		
会議	日付	審議事項等
4 月定例会	4/23	奨学金の貸与、学校評議員、社会教育委員、公民館運営審議会委員の委嘱、図書館協議会委員の任命（議案 5 件）
6 月定例会	6/16	特別支援教育就学奨励費交付要綱の制定、文化財調査審議会委員の委嘱、教育費補正予算（6 月）（議案 3 件）
7 月臨時会	書面議決	令和 8 年度使用教科用図書の採択（議案 1 件）
9 月定例会	9/10	教育費補正予算（9 月）（議案 1 件）
10 月臨時会	10/22	教育長職務代理者の指名（1 件）
12 月定例会	12/3	放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正、奨学金返還支援事業助成金交付要綱の一部改正、町立学校の在り方検討委員会設置要綱の制定、町立学校の在り方検討委員会の審議内容、教育費補正予算（12 月）（議案 5 件）
3 月定例会	3/4	指定管理者の指定、教育職員に関する業務量管理・健康確保措置実施計画の策定、奨学金貸与基金の設置、管理及び運営に関する条例施行規則の一部改正、定住促進奨学金貸与基金の設置、管理及び運営に関する条例施行規則の一部改正、地域クラブの認定等に関する要綱の制定、地域クラブ運営支援事業補助金交付要綱の制定、高校生通学費等助成金交付要綱の一部改正、教育委員会表彰、教育費補正予算（3 月）、教育費当初予算（議案 10 件）
3 月臨時会	3/24	公民館長の任命、教育委員会事務局及びその他の教育機関の職員の人事異動、文化財の指定、教育委員会組織規則の一部改正、スクールバス運行管理規則の一部改正、学校給食費助成金交付要綱の一部改正、就学援助事業実施要綱の一部改正（議案 7 件）

(2) 教育委員研修
・新潟県市町村教育委員連合会総会・研修会 (7/18 阿賀野市)
・社会同和教育市町村巡回研修会 (7/9 刈羽村)
・意見交換会 (柳津町 中止)
・庁内研修 5回 「4月・6月・9月・12月・3月」
(3) その他の参加活動状況
・転入教職員面識会 (4月1日)
・小・中学校入学式 (4月8日)
・小学校運動会 (5月24日)
・二十歳のつどい (8月16日)
・中学校体育祭 (9月13日)
・小学校音楽発表会 (10月18日)
・中学校学習発表会 (10月18日)
・生涯学習フェスティバル (11月2日・3日)
・学校施設営繕視察検討会 (11月10日)
・町教育委員会表彰伝達式 (3月4日)
・小・中学校卒業式 (3月25日、3月3日)

▶概要

令和7年度の教育委員会会議は、定例会を5回、臨時会を3回開催し、33件の議案を審議した。総合教育会議は児童・生徒等の生命・身体等の緊急の講ずべき課題はないために1回の開催となった。

▶成果と課題

- (1) 町長と教育委員による総合教育会議の開催により、町の教育の現況（課題）及び児童・生徒の様子について、情報共有を図り、両者の教育施策の方向性を共有し、一致して執行にあたることを確認できた。
- (2) 教育委員会を開催する際は、定例的に教育委員研修を実施することで、教育や子育て支援に関する新制度や児童生徒の現状を速やかに報告するなど教育委員と事務局の情報共有を進め、審議の活性化に努めた。

- (3) 教職員が児童・生徒の様子を把握し、何かあった時は校長のもとで初期対応をチーム学校で取り組む体制を構築していく。また「出雲崎町いじめ防止基本方針」による取組や学校と PTA、保護者などと連携しながら、「いじめを生まない、いじめを絶対見逃さない」意識を醸成していく。
- (4) 自然体験として小 4～小 6 までを対象にスキー教室を行った。また小 1～小 3 も雪遊びやスケートを通じて新潟県内に住みながら冬の体験活動の機会が少ないことから学校生活では体験できない自然環境で心身の健康と技能を高める目的で今後も続けていく。
- (5) 教育支援相談は教育課と保健福祉課で連携して対応している。職員（保健師等）による聞き取りや助言を行い、ケースによっては専門職による巡回指導やスクールカウンセラー事業での臨床心理士による相談により、児童生徒の保護者への支援を行っている。
- (6) 高校生の通学に係る保護者の経済的負担の軽減を図るため、通学定期券購入費用の助成率を令和 6 年度より 50%に引き上げた。本事業は、通学が困難で寮生活されている生徒も対象にしている。
- (7) 小中学校の入学時及び中学校卒業時に入学卒業祝金を支給し、入学・卒業時における家庭の経済的負担の軽減を図っている。
- (8) 若者の定住促進を図るため、大学や専門学校を卒業又は退学後に町に定住すると奨学金の返還を全額免除する定住促進奨学金制度や奨学金の返還の一部を助成する奨学金返還支援制度により、若者の UI ターンの促進を図っている。
- (9) 昨今の通学途中の犯罪や交通事故を背景に、登下校の児童・生徒の安全確保が求められており、冬期間下校時の中学生のスクールバス運行は自宅から学校までの距離を 2 km以上に拡大し運行を行っている。小学生の登下校及び中学生の登校についても、昨年同様に行い、遠距離児童生徒の通学の安全確保が図られている。
- (10) 町と出雲崎高等学校との包括協定により、交流や連携を図りながら同校の持続的発展、地域貢献できる人材に結びつけるため、教育活動への人的・物的資源の活用や支援を積極的に行っていく。
- (11) 中学校部活動の地域展開に向け、4つの地域クラブで休日の活動を行っている。地域の指導者等の協力の下で、生徒のスポーツや文化活動の場を保障している。地域クラブの認定制度や困窮世帯への支援制度等を整え、地域社会の理解と協力を得ながらさらに推進していく。

Ⅲ 学校教育

1. 出雲崎小学校

令和7年度



出雲崎小学校

学校評価だより













7月の学校評価アンケートにおいては、貴重なご意見をいただき、ありがとうございました。下記のとおり集計結果と今後の課題・取組についてまとめましたので、お知らせいたします。学校と家庭が同じ方向で取組を進めてまいりましょう。



今後とも、全職員一丸となって教育活動に邁進していきますので、変わらぬご支援とご協力をお願いいたします。

出雲崎小学校 校長 中澤 広行

グランドデザインの評価目標（知育85%以上、徳・体90%以上） 達している。  目標まで5%以内

↑↓：昨年度前期の結果（年度のスタートとして同じ時期での）比較で、5ポイント以上の変容

児童アンケート				保護者アンケート			
No.	項目	評価	比較	No.	項目	評価	比較
	1 学校は楽しいですか。	93			1 お子さんは、学校が楽しいと感じていますか。	92	
まなびの部	2 授業中、進んで学習（自分で考えたり、発表したり、友だちと相談したり）できましたか。	89			2 お子さんは、進んで学習に取り組んでいる様子が見られますか。	71	↑
	3 授業が分かりますか。	94			3 お子さんは、学年の学習内容を理解していると感じますか。	80	
	4 ペアやグループ、学級全体に向けて、自分の考えを友達に伝えることができましたか。	85			4 お子さんは、学年×10分以上の家庭学習に取り組んでいますか。	54	↓
	5 毎日、学年×10分以上の家庭学習をしていますか。	79			5 進んで読書する姿が見られましたか。（新規）	33	↓
	6 進んで読書に取り組みましたか。（新規）	82			6 お子さんに、家庭学習に取り組むための働きかけ（励ましや宿題の確認、アドバイスなど）をしていますか。	86	
					お子さんに、肯定的で温かな言葉かけをしていますか。また、お子さんが乱暴な言葉遣いをしたときは指導していますか。		
こころの部	7 友達に、優しい言葉をかけていますか。	94			7 家庭で、お子さんに手伝いをさせたり、仕事を任せたりしていますか。	75	↓
	8 係活動や当番活動、委員会の仕事などで、周りの人の役に立てたと思いますか。	84	↓		8 お子さんは、家庭や地域で、相手の目を見てあいさつをしていますか。	68	
	9 相手の目を見て、あいさつすることができましたか。	82			9 お子さんの様子について、学校と情報交換ができていますか。（新規）	90	
	10 自分や友達が困ったことは、先生や家族、友達に相談していますか。（新規）	85		↑			
からだの部	11 休み時間や体育の時間に、進んで体を動かしましたか。	80	↓		11 お子さんの健康を守るためにも、寝る時刻を守るよう、声をかけ、促していますか。（新規）	95	
	12 体育の時間や休み時間などで、自分のめあてに向かって、練習したり努力したりしましたか。	79	↓				
				12 学校・学年からのたより等で、学校の活動やお知らせが適切に伝わっていますか。			
				94			

「前期評価」欄の数値は、アンケートでの肯定的回答を百分率（%）で表しています。学校のグランドデザインで示してある目標の達成度を   で示し、矢印は昨年度前期の評価結果と比較して5ポイント以上変化があった場合に示してあります。

1 学校が楽しい、7 優しく温かな言葉づかい、10 相談、情報交換など、児童・保護者共により評価項目があります。低下している項目へは裏面のように取組を工夫し、また、マイナス傾向の評価をしている児童への支援・働きかけに留意していきます。

まなび の部

2年生図工「光の
プレゼント」づくり



3年生説明文「こま……」
実体験して読みを深める。



4年生 川探検

豊かな学びを創る

「学校が楽しい」「授業中、進んで学習」「授業が分かる」に関する項目で、今回も児童の肯定的な回答が高く、学習意欲の高まりが感じられます。興味をもてる学習課題や課題解決への見通しといった学習の進め方への配慮、複数職員でのきめ細かな指導や温かな声掛け等による成果と思われれます。今後も職員の研修を積み重ね、「ICTの活用」「考えを伝え合う」を主に、児童に還元できるようにしていきます。

しかし、ご家庭で見られる様子からは、やや低調な部分があります。学校での学びが家庭学習につながっていくよう、取組例や参考例を示したり、楽しんで読書ができる活動を組んだりしていきます。学年懇談会での話題に取り上げながら、学校と家庭とで協力しながら家庭学習の習慣化が図れるようにしていきたいと考えています。

こころ の部

あいさつ運動



1年生キッズ
プロジェクト



5・6年生プール清掃

豊かな感性と社会性を育む

地域に出かけ、地域から学ぶ機会が益々増え、学習面も心の成長も充実してきています。アンケート結果からも、「優しい声掛け」が、高評価で安定的に継続されてきています。時には、少しきつい言葉遣いも見られるので、児童会の集会活動でも取り上げ、全校で意識づけしていけるよう促していきます。

「周りの役に立つ」項目が、中学校同様低下傾向にあります。役に立っているのか自覚できないでいるものと思われる。「やって当たり前」ではなく、「ありがとう」「助かったよ」と互いに認め合う機会を繰り返し設けていきます。ご家庭でも、ぜひ子供のがんばりを認め、ほめてあげてください。

「あいさつ」については、家庭や地域、園、中学校との連携が必要と考えています。私たち大人も進んであいさつを心がけていきましょう。学校では、関係する委員会活動を促し、自分たちの取り組みとしてあいさつへの意識化を促していきます。

縦割り班での体力テスト

からだ の部



健康・安全と体力の向上を図る

運動会での競技、応援



ハッピーライフウィークでの取組によって、自分の生活習慣を見直す機会になり、成果が上がってきています。しかし、アンケート結果からは、「進んで運動」「めあてに向かって練習・努力」が低調となっています。体育指導者が昨年度は同一職員が全学年を指導していたものの、本年度は学年により異なる職員が指導しているとの状況の違いもあります。体育の授業を通して、体を動かすことが楽しいと感じられるよう取組を改善していきます。学習カードの準備や暑い時のミストシャワー使用などの環境づくりも大切に、体育部を中心に全校で運動に親しめるようにしていきます。

学校評価だより













12月の学校評価アンケートにおいては、貴重なご意見をいただき、ありがとうございました。下記のとおり集計結果と今後の課題・取組についてまとめましたので、お知らせいたします。学校と家庭が同じ方向で取組を進めてまいりましょう。



今後とも、全職員一丸となって教育活動に邁進していきますので、変わらぬご支援とご協力をお願いいたします。

出雲崎小学校 校長 中澤 広行

グランドデザインの評価目標（知育85%以上、徳・体90%以上） 達している。  目標まで5%以内

↑↓：今年度前期の結果比較で、5ポイント以上の変容

児童アンケート				保護者アンケート				
No.	項目	評価	比較	No.	項目	評価	比較	
	1 学校は楽しいですか。	94			1 お子さんは、学校が楽しいと感じていますか。	96		
まなびの部	2 授業中、進んで学習（自分で考えたり、発表したり、友だちと相談したり）できましたか。	93			2 お子さんは、進んで学習に取り組んでいる様子が見られますか。	68		
	3 授業が分かりますか。	97		3	お子さんは、学年の学習内容を理解していると感じますか。	84		
	4 ペアやグループ、学級全体に向けて、自分の考えを友達に伝えることができましたか。	88						
	5 毎日、学年×10分以上の家庭学習をしていますか。	75		4	お子さんは、学年×10分以上の家庭学習に取り組んでいますか。	61	↑	
	6 進んで読書に取り組みましたか。（新規）	82		5	進んで読書する姿が見られましたか。（新規）	43	↑	
					6	お子さんに、家庭学習に取り組むための働きかけ（励ましや宿題の確認、アドバイスなど）をしていますか。	81	↓
こころの部	7 友達に、優しい言葉をかけていますか。	99	↑		7	お子さんに、肯定的で温かな言葉かけをしていますか。また、お子さんが乱暴な言葉遣いをしたときは指導していますか。	96	
	8 係活動や当番活動、委員会の仕事などで、周りの人の役に立てたと思いますか。	90	↑	8	家庭で、お子さんに手伝いをさせたり、仕事を任せたりしていますか。	77		
	9 相手の目を見て、あいさつすることができましたか。	81		9	お子さんは、家庭や地域で、相手の目を見てあいさつをしていますか。	63	↓	
	10 自分や友達が困ったことは、先生や家族、友達に相談していますか。（新規）	85		10	お子さんの様子について、学校と情報交換ができていますか。（新規）	95	↑	
からだの部	11 休み時間や体育の時間に、進んで体を動かしましたか。	80		11	お子さんの健康を守るためにも、寝る時刻を守るよう、声をかけ、促していますか。（新規）	95		
	12 体育の時間や休み時間などで、自分のめあてに向かって、練習したり努力したりしましたか。	85	↑					
				12	学校・学年からのたより等で、学校の活動やお知らせが適切に伝わっていますか。	97		

「後期評価」欄の数値は、アンケートでの肯定的回答を百分率（%）で表しています。学校のグランドデザインで示してある目標の達成度を   で示し、矢印は今年度前期の評価結果と比較して5ポイント以上変化があった場合に示してあります。

前期に比べて良くなってきた項目が増え、ご家庭でのご協力に感謝しています。低めの項目へは裏面のように取組を工夫し、また、マイナス傾向の評価をしているお子さんへの支援・働きかけに今後も留意していきます。

まなびの部

授業改善研修



6年 町議員さんへの提案



1年 脇野町小との交流会



豊かな学びを創る

「学校が楽しい」「授業中、進んで学習」「授業が分かる」に関する項目で、今回も児童の肯定的な回答が高く、学習意欲の高まりが感じられます。興味をもてる学習課題や課題解決への見通しといった学習の進め方への配慮、複数職員でのきめ細かな指導や温かな声掛け等による成果と思われます。今後も職員の研修を積み重ね、「ICT活用」「考えを伝え合う」を主に、豊かな学びができるようにしていきます。

しかし、ご家庭で見られる様子からは、やや低調な部分があります。家庭学習の取組例や参考例を積極的に示したり、iPadを使って読書ができる機能を紹介したりしていきます。学年懇談会での話題に取り上げる等しながら、学校と家庭とで協力しながら家庭学習の習慣化が図れるようにしていきたいと考えています。

ありがとうの花集会



もっくんとのふれあい



小中学校 あいさつ運動



こころの部

豊かな感性と社会性を育む

「周りの役に立つ」ことが実感できるように、何のためにするのかという目的意識をもたせることで活動の工夫が広まりました。自分の考えた活動を楽しんでくれる友達の姿が、自己有用感の高まりにつながったものと思われます。ご家庭でも、「やって当たり前」ではなく、「ありがとう」「助かったよ」と子供のがんばりを認め、ほめてあげてください。

「あいさつ」については、家庭や地域、園、中学校との連携が必要と考えています。私たち大人も進んであいさつを心がけていきましょう。学校では、毎朝玄関で生活委員会を主に元気なあいさつの声が響くようになってきています。今後、あいさつがより広がるよう、活動を工夫していきます。また、「さん」付けで相手をお呼びすることで、互いの関係性をよくしたり、互いを大切に思う気持ちを高めたりしていきたいと考えています。

からだの部

1・2年
そり遊び



健康・安全と体力の向上を図る

3年 スケート教室

4～6年 スキー教室

年間3回のハッピーライフウィークでの取組によって、自分の生活習慣を見直す機会になり、成果が上がってきています。また、アンケート結果からは、「めあてに向かって練習・努力」が向上してきています。体育での学習カードを活用していること、冬場のなわとびスペースを確保して、運動に親しめるようにしているところです。

今後も、ハッピーライフウィークで取組項目の重点化を図ったり、運動の場を工夫したりして、健康・体力の向上に努めていきます。

2. 出雲崎中学校

令和7年度 出雲崎中学校グランドデザイン



教育目標
豊かな心 たくましい実践

“ふるさと出雲崎”に根付く
「心耕」の精神

「心耕」の精神 ⇒ 「たくましい実践」を通して、「豊かな心」を醸成します

<p>【豊かな心】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○「自律の心」…自分で考え、判断し、行動する ← ○「慈愛の心」…互いに認め合い、思いやる ← ○「挑戦の心」…高い目標を掲げ、自己を磨く ← 	<p>【たくましい実践】</p> <ul style="list-style-type: none"> 自分で考え、自分の思いを伝えよう ← 自分と仲間のために行動しよう ← あきらめず、粘り強くやり抜こう ←
--	---

【令和7年度の重点 『目指す生徒の姿』】

【知】意欲を持って、わかるまで、できるまで学ぶ生徒	【徳】お互いを思いやる、心優しい生徒	【体】目的を持って自己に挑戦し、自ら鍛える生徒
<p>【努力事項】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○学習指導要領を確実に実施し、知識・技能を高める。 ○課題設定や発問を工夫し、考え、議論する場面を設定することにより、思考力・判断力・表現力を高める。 ○学ぶ意義を理解させ、学びの有用性を感じさせることにより、主体的に学習に取り組む態度を育てる。 ○ICTを活用し、学びのデータや習熟度に応じた指導・支援を充実させることにより、個別最適化された学びの実現を図る。 ○学習習慣の定着に向け、授業内で積極的に助言し、家庭学習の充実を図る。 <p>【目指す生徒の姿】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○より良く表現しようとする姿 <ul style="list-style-type: none"> ・授業や生徒会活動等、学校生活の中で、各自が学期毎に5回以上文章や言葉で発表する。 ・「より良い表現」を意識して発表に取り組む。 ○学びに向かう姿 <ul style="list-style-type: none"> ・チャイムと同時に授業に取り組む。 ・スモールステップで学習を積み上げながら、基礎力を身に付ける。 ・家庭学習について、毎日60分+学年×10分以上、内容を工夫して計画的に取り組む。 ○読書への関心 <ul style="list-style-type: none"> ・朝読書を継続し、読書の習慣化を図る。 	<p>【努力事項】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○思いやりをもち、自己や他者、社会にとってより良い判断ができるよう、「考え、議論する道徳」を推進する。 ○同和教育を中心とした人権教育を推進し、人権意識の高揚を図り、差別や偏見を許さず、自己を大切に行動することができる力を育む。 ○教育活動の様々な場面で、「人とかかわる」交流の場面を設定し、集団の中で自己有用感を高めるとともに、互いの良さを実感させ、思いやりの心を育てる。 <p>【目指す生徒の姿】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○自己肯定感・自己有用感 <ul style="list-style-type: none"> ・専門委員会や学級の係活動等で自分の役割を果たす。 ・学校生活において、決められた仕事だけでなく、自分で気付いて仕事を行う。 ○豊かな人間関係 <ul style="list-style-type: none"> ・周囲と接するときに「慈愛」意識した言動を心掛ける。 ・悩みや困ったことがあったら、家族や先生、友人に相談することができる。 	<p>【努力事項】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○自分の健康や体力の向上に関心をもち、自分の生活を振り返りながら、主体的に健康を維持管理していかうとする態度を育てる。 ○基本的な生活習慣の確立に向けて、計画的・継続的な指導を徹底する。 ○教育活動全体を通して、生徒の前向きな取組、より高い目標に向かって努力しようとする姿勢を賞讃、奨励する。 <p>【目指す生徒の姿】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○体力の向上 <ul style="list-style-type: none"> ・体育の授業や部活動、昼休み等、日常生活の中で運動やスポーツに親しみ、意欲的に取り組む。 ・新体力テストにおいて、県平均を36項目中24項目以上超える。 ○基本的な生活習慣の確立 <ul style="list-style-type: none"> ・「ハッピーライフウィーク」の取組の中で、 <ol style="list-style-type: none"> ①23時までに寝て、朝7時までに起きる。 ②メディア（勉強目的以外のタブレット使用・SNS・パソコン・ゲーム）の使用を2時間以内にする。 ③主食・主菜・副菜を揃えて3食を食べる。

地域・保護者との協働	出雲崎町の学校教育の基本理念	小学校との協働（小中一貫教育）
<p>○地域の組織・人材</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校支援地域本部事業 ・学校評議員会 ・地域コーディネーター ・地域おこし協力隊 ・地域の事業所、福祉施設等 <p>○家庭との協働</p> <ul style="list-style-type: none"> ○基本的な生活習慣の確立 <ul style="list-style-type: none"> ・ハッピーライフウィークでの連携 ・家庭でのメディアのルールづくり ○規範意識の確立 <ul style="list-style-type: none"> ・家庭内ルールの育成 ○豊かな人間性の育成 <ul style="list-style-type: none"> ・挨拶、言葉遣い、身だしなみ ○学習支援 <ul style="list-style-type: none"> ・家庭学習のみとりと支援・確認 	<p>○生きる力の基盤となる確かな学力の育成（知）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・知識及び技能の習得、思考力・判断力・表現力の育成、学びに向かう力・人間性の涵養 <p>○豊かな心、倫理観、規範意識をはぐくむ教育の推進（徳）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・善悪を的確に判断し、互いに認め合い協力して活動する能力の育成 <p>○夢と志をもち、健康でたくましい心身の育成（体）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・積極的に挑戦する態度、最後までやり抜く強い意志と行動力を支えるたくましい心と健康な身体 	<p>○小中一貫教育活動の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・9年間を通じた授業規律の徹底 ・9年間を通じた家庭学習の確立 ・「わかる」を積み重ねる指導の工夫 ・課題の洗い出しと系統的な指導の充実 ・「知・徳・体」の3部門での連携 ・9年間の見通しをもった「良寛学習」 ・発達段階に応じた体験学習の設定 ・道徳教育、キャリア教育の充実 ・継続的な情報交換による生徒指導 ・積極的な交流活動 ・キャリアパスポートによる連携 <p>○学力の向上に向けて</p> <ul style="list-style-type: none"> ・共に伝え合い、学び合う場の設定 ・話し合い活動の計画的な設定 ・授業のUD化の推進 ・家庭学習指導の継続と連携

【出雲崎町がめざす学校教育の姿】 **夢を育み、歴史・文化を大切にする教育**

※ 知・徳・体の調和のとれた「生きる力」の育成を目指して「知識及び技能」の習得、「思考力、判断力、表現力等」の育成、「学びに向かう力、人間性等」の涵養を実現する

知育

	評価項目	評価基準 ※肯定的評価=A, B	評価	備考
より良く表現しようとする姿	成果 より良く表現しようと努力する生徒が増加する。	生徒アンケートで教育活動 イの項目が A：後期の結果が前期を上回る B：同程度 C：下回る	B	1学期→94% 2学期→92%
	教育活動 ア 学校生活の中で学期毎に5回以上発表する。	生徒アンケートで A：4回以上の生徒が80%以上 B：4回以上の生徒が60%以上 C：Bに満たない	C	【生徒アンケート】 授業や生徒会活動など、学校生活の中で、学級全体や全校に向けて言葉や文章で発表する機会が 今学期(訂正) 何回くらいありましたか。 A:5回以上 B:4回 C:3回 D:2回以下
	イ 「より良い表現」を意識して、表現することができる。	生徒アンケートで A：肯定的評価の生徒が80%以上 B：肯定的評価の生徒が60%以上 C：Bに満たない	A	【生徒アンケート】 言葉や文章で発表するときに、より良い表現になるように意識して取り組みましたか。 A, B, C, D
	運営活動 ア 各教科や領域を通して、発表の機会を学期毎に2回設定する。	教師の評価で A：A, Bの教師が100% B：A, Bの教師が80%以上 C：Bに満たない	B	【学校評価】 各教科や領域を通して、発表の機会を学期毎にどのくらい設けましたか。 A:3回以上 B:2回 C:1回 D:0回
イ 「より良く表現しようとする姿」を意識し、生徒が成果を感じられるように、表現活動を計画する。	教師の評価で A：肯定的評価の教師が80%以上 B：肯定的評価の教師が60%以上 C：Bに満たない	A	【学校評価】 「より良く表現しようとする姿」の5項目を意識して表現活動を支援しましたか。 A, B, C, D より良く表現しようとしている姿 ○丁寧な文字や図、明瞭な言葉で表現しようとしている。 ○事実や資料、データをもとに表現しようとしている。 ○他と比較・検討して表現しようとしている。 ○他の意見を取り入れ、伝え方や伝えたい内容を工夫して表現しようとしている。 ○相手に合わせて、伝える内容や表現方法を工夫しようとしている。	
学びに向かう姿	成果 家庭学習や、授業に意欲的に取り組む生徒が増加する。	生徒アンケートで教育活動 ウ②の項目が A：後期の結果が前期を上回る B：同程度 C：下回る	B	1学期→81% 2学期→77%
	教育活動 ア チャイムと同時に授業に取り組む。	生徒アンケートで A：肯定的評価の生徒が80%以上 B：肯定的評価の生徒が60%以上 C：Bに満たない	A	【生徒アンケート】 チャイムと同時に授業に取り組むことができましたか。 A, B, C, D
	イ スモールステップで学習を積み上げながら、基礎力を身に付ける。	教師の評価で A：肯定的評価の教師が100% B：肯定的評価の教師が80%以上 C：Bに満たない以上	B	【学校評価】 5教科の授業担当者が評価スモールステップの学習を意識し、小テストや単元テストなどを実施できましたか。 A：できた B：だいたいできた C：ほとんどできなかった D：できなかった
	ウー① 毎日60分+学年×10分以上家庭学習に取り組む。	生徒アンケートで A：学年目標達成者が80%以上 B：学年目標達成者が50%以上 C：Bに満たない 学年目標達成者割合 1学期→15% 2学期→25%	C	【生徒アンケート】 家庭学習時間は1日平均どれくらいでしたか。 A：学年目標以上 B：60分以上 学年目標未満 C：30分以上 60分未満 D：30分未満 学年目標 1年70分以上、2年80分以上、3年90分以上
	ウー② 家庭学習の内容を工夫し、計画的に取り組んでいる。	生徒アンケートで A：肯定的評価の生徒が80%以上 B：肯定的評価の生徒が60%以上 C：Bに満たない	B	【生徒アンケート】 授業で学習したことが身に付くように、家庭学習の内容を自分で考えて、改善しながら取り組みましたか。 A, B, C, D
運営活動	ア チャイムと同時に授業がスタートできるように授業を計画する。	教師の評価で A：肯定的評価の教師が100% B：肯定的評価の教師が80%以上 C：Bに満たない	A	【学校評価】 チャイムと同時に授業をスタートさせることができましたか。 A, B, C, D
	イー① 各教科で、小テストや単元末テスト等を実施し、達成感を感じさせながら、基礎力を身に付けさせる。	教師の評価で A：肯定的評価の教師が100% B：肯定的評価の教師が80%以上 C：Bに満たない	C	【学校評価】 5教科の授業の授業担当者が評価小テストや単元末テストで、達成感が感じられるように支援しましたか。 A, B, C, D
	イー② 各教科で、授業と家庭学習をつなぐ学習内容を助言する。	教師の評価で A：肯定的評価の教師が100% B：肯定的評価の教師が80%以上 C：Bに満たない	B	【学校評価】 全教科の授業担当が評価その日の家庭学習でできることなど、授業中に積極的に助言しましたか。 A, B, C, D
	ウ 家庭学習の実施状況を確認し、助言、指導を行う。	教師の評価で A：肯定的評価の教師が100% B：肯定的評価の教師が80%以上 C：Bに満たない	A	【学校評価】 各学年部の担当者が評価家庭学習の実施状況を確認し、助言や指導を行いましたか。 A, B, C, D

徳育

徳	評価項目	評価基準	評価	備考
成果	自分がクラスや学校の活動に貢献していると実感して学校生活を送る。	Q-Uの結果を活用する。 (A.やる気のあるクラスをつくる) 「16.自分もクラスの活動に貢献していると思う」 5点満点 (C.日常の行動を振り返る) 「11.みんなのためになることを自分で見つけ実行している」 4点満点(5点換算) A: 2つの合計値が8点以上 B: 2つの合計値が6点以上8点未満 C: Bに満たない	B	【1学期】 A 全校平均 8.20点 (A16) 3.99点、(C11) 4.21点 1年生: 8.33点 2年生: 7.56点 3年生: 8.40点 【2学期】 B 全校平均 7.94点 (A16) 3.76点、(C11) 4.18点 1年生: 7.88点 2年生: 7.75点 3年生: 8.21点
	ア 専門委員会や学級の係活動などで自分の担当の仕事に取り組む。	生徒の学校生活アンケートで 「委員会活動で自分の担当の仕事に取り組みましたか」 「係活動で自分の担当の仕事に取り組みましたか」 A: 肯定的な評価割合が80%以上 B: 肯定的な評価割合が60%以上80%未満 C: Bに満たない	A	【1学期】 A (全校平均: 98%) 1年生: 96% 2年生: 100% 3年生: 96% 【2学期】 A (全校平均: 99%) 1年生: 96% 2年生: 100% 3年生: 100%
自己肯定感・自己有用感	イ 学校生活において、決められた仕事だけでなく、自分で気付いて仕事を行う。	生徒の学校生活アンケートで 「学校生活において、決められた仕事以外も自分で気付いて仕事をしましたか」 A: 肯定的な評価割合が80%以上 B: 肯定的な評価割合が60%以上80%未満 C: Bに満たない	A	【1学期】 A (全校平均: 86%) 1年生: 68% 2年生: 96% 3年生: 100% 【2学期】 A (全校平均: 86%) 1年生: 68% 2年生: 94% 3年生: 96%
	ア 専門委員会や学級での取組について、他者からの評価の場を定期的に設定し、良さを認めたり、改善すべき点を指導したりする。	教師のアンケートで A: 肯定的な評価割合が80%以上 B: 肯定的な評価割合が60%以上80%未満 C: Bに満たない	A	【1学期】 A (86%) 内訳: A72% B14% C14% 【2学期】 A (88%) 内訳: A44% B44% C12%
運営活動	イ 生徒会本部や毎月の専門委員会で振り返りを行うなど、活動の意味や学校生活向上に貢献する意義について指導する。	教師のアンケートで A: 肯定的な評価割合が80%以上 B: 肯定的な評価割合が60%以上80%未満 C: Bに満たない	A	【1学期】 A (100%) 内訳: A100% 【2学期】 A (100%) 内訳: A50% B50%
	成果	生徒が、クラスの中にいるとほっとしたり明るい気分になると感じている。	Q-Uの結果を活用する。 (A.やる気のあるクラスをつくる) 「14.クラスの中にいるとほっとしたり明るい気分になる」 A: 平均点が4点以上 B: 平均点が3点以上4点未満 C: Bに満たない	B
豊かな人間関係づくり	ア 周囲と接するときに「慈愛」を意識した言動を心掛ける。 ※「他人を思いやる気持ち」と捉える	生徒の学校生活アンケートで 「あなたは、『望ましい対話のポイント』を意識しながら、学校生活を送るよう心掛けましたか」 「また、そう回答した理由を具体的に教えてください」 →記述で回答 A: 肯定的な評価割合が80%以上 B: 肯定的な評価割合が60%以上80%未満 C: Bに満たない	A	【1学期】 A (全校平均: 84%) 1年生: 86% 2年生: 94% 3年生: 78% 【2学期】 A (全校平均: 90%) 1年生: 88% 2年生: 82% 3年生: 96%
	イ 悩みや困ったことがあったら、家族や先生、友人に相談できる人がいる。	生徒の学校生活アンケートで 「悩みや困ったことがあったら、誰か相談できる人はいますか」 「いる」と回答した人に質問です。相談をせずに、どのようにして解決していこうと考えていますか(または、解決しましたか)。具体的に教えてください。」 →記述で回答 A: 肯定的な評価割合が80%以上 B: 肯定的な評価割合が60%以上80%未満 C: Bに満たない	A	【1学期】 A (全校平均: 94%) 1年生: 93% 2年生: 94% 3年生: 96% 親(63%) 兄弟・姉妹(37%) 友人(83%) 先生(38%) その他(7%) 【2学期】 A (全校平均: 93%) 1年生: 88% 2年生: 94% 3年生: 96% 親(59%) 兄弟・姉妹(29%) 友人(80%) 先生(38%) その他(6%) いない(7%)
	ア 諸活動において、「望ましい対話のポイント」を意識して取り組ませることを通じ、互いを尊重し合う人間関係作りを指導する。	教師のアンケートで A: 肯定的な評価割合が80%以上 B: 肯定的な評価割合が60%以上80%未満 C: Bに満たない	A	【1学期】 A (100%) 内訳: A50% B50% 【2学期】 A (100%) 内訳: A11% B89%
運営活動	イ 日々の生徒の様子や変化を捉えて、生徒に進んで声かけを行う。	教師のアンケートで A: 肯定的な評価割合が80%以上 B: 肯定的な評価割合が60%以上80%未満 C: Bに満たない	A	【1学期】 A (100%) 内訳: A89% B11% 【2学期】 A (90%) 内訳: A60% B30% C10%

体育

	評価項目	評価基準	評価	備考
体力の向上	<p>・2学期に実施する新体力テストで、36項目中、1学期に実施する新体力テストの県平均を24項目以上越える。(1学期は全48項目実施)</p> <p>※1学期の新体力テスト：全国共通 ※2学期の新体力テスト：学校独自に実施 ※2学期は、屋内6種目のみ実施</p>	<p>2学期に行う新体力テストの結果で、36項目中、</p> <p>A：24項目以上、県平均を上回る B：18項目以上、県平均を上回る C：Bに満たない。</p> <p>※ 総項目数：テスト6種目×各学年・男女 6集団の合計＝36項目</p>	B	<p>1年男子：6種目すべて県平均を上回る 2年男子：6種目中4種目県平均を上回る 3年男子：6種目中すべて県平均を上回る 1年女子：6種目中1種目県平均を上回る 2年女子：6種目中3種目県平均を上回る 3年女子：6種目中3種目県平均を上回る</p> <p>学年合計：36項目中23種目 <6種目> 握力・上体起こし・長座体前屈 反復横跳び・立ち幅跳び・シャトルラン</p>
	<p>・体育授業や部活動、昼休み、日常生活のなかで、運動やスポーツに親しみ、意欲的に取り組む。</p>	<p>生徒の学校生活アンケートで「体を動かすことやスポーツが好きですか」という質問に</p> <p>A：好きという生徒が80%以上 B：好きという生徒が70%以上 C：Bに満たない。</p>	A	<p>・好き、やや好きで解答した人の割合は、全校の80%でした。 (肯定的評価)</p>
	<p>・体育授業の準備運動で、体力づくり運動を毎時間実施する。(生徒が考案した出中トレーニングも含む)</p>	<p>4月～10月(水泳授業のある7月を除く)体育(準備運動)で、体力づくり運動を</p> <p>A：総時数の75%以上の時間で実践 B：総時数の60%以上の時間で実践 C：Bに満たない。</p>	A	<p>・ランニング5周(グラウンド2周) ・腕立て10回 ・腹筋10回 ・背筋10回 ・パービー10回を毎時間実施。</p>
基本的な生活習慣の確立	<p>・ハッピーライフウィークでの基本的な生活習慣の重点3項目を守って生活できる。</p>	<p>教育活動の重点3項目の取組で</p> <p>A：3項目を達成する B：2項目を達成する C：Bに満たない</p>	C	
	<p>・ハッピーライフウィークで</p> <p>①7時間以上の睡眠をとる。</p>	<p>生徒取組カードで</p> <p>A：85%以上の生徒が実施 B：70%以上の生徒が実施 C：Bに満たない。</p>	A	<p><睡眠> 1年生 6月：85% 9月：88.8% 2年生 6月：90% 9月：92% 3年生 6月：94% 9月：93.1% 全校 6月：89.6% 9月：91.3% 2回全校平均：90.4%</p>
	<p>・ハッピーライフウィークで</p> <p>②メディアの使用を2時間以内にする。 ※勉強目的でのタブレット使用以外、SNS、ゲーム、パソコンを指す。</p>	<p>生徒取組カードで</p> <p>A：90%以上の生徒が実施 B：80%以上の生徒が実施 C：Bに満たない。</p>	C	<p><メディア> 1年生 6月：69% 9月：72.4% 2年生 6月：71% 9月：61.6% 3年生 6月：86% 9月：81.7% 全校 6月：75.7% 9月：71.9% 2回全校平均：73.8%</p>
	<p>・ハッピーライフウィークで</p> <p>③主食・主菜・副菜を揃えて3食をとる。</p>	<p>生徒取組カードで</p> <p>A：70%以上の生徒が実施 B：60%以上の生徒が実施 C：Bに満たない</p>	C	<p><食事> 1年生 6月：42% 9月：59.7% 2年生 6月：48% 9月：53.6% 3年生 6月：71% 9月：74.9% 全校 6月：53.6% 9月：62.7% 2回全校平均：58.1%</p>
	<p>・ハッピーライフウィーク中、カードを使って個々の睡眠の評価と生活指導を行う。</p>	<p>ハッピーライフウィーク中に担任、学年主任、養護教諭、栄養教諭のいずれかが</p> <p>A：毎回、必要な生徒に向けて必要な生活指導を行う。 B：年間1回以上、必要な生徒に向けて必要な生活指導を行う。 C：Bに満たない。</p>	A	<p>全3回で事前指導を実施。</p>

3. 学校支援地域本部事業

出雲崎中学校



令和8年3月

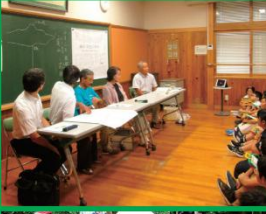
学校支援地域本部事業報告

活動のあゆみ

運営委員長 内藤 仁

出雲崎小・中学校では、地域とともに歩む教育活動を大切に、今年度も発達段階に応じた多彩な学びを展開しました。小学校では、園での遊びを生かした自然体験から始まり、水辺での野外活動や米作りから地域の施設と協働した販売体験、自分の将来へと学びを広げました。中学校では、キャリア教育の一環として出雲崎高等学校のランチキャンパス活動に参加し、将来を見つめる機会をもちました。こうした体験は、学びの連続性を支え、知識を深めるだけでなく、豊かな心と地域への愛着を育むものです。

本事業は、その歩みを支え、よりよいものとするために学校と地域が協働しています。このリーフレットでは、今年度の活動のあゆみをご報告します。地域の皆様には、今後とも温かいご支援をお願い申し上げます。



出雲崎小学校

1年 大好き! 出雲崎!! ~自然・人とのつながり~

ほなみが丘倶楽部の方々にほなみが丘を探検しながら植物のことを教えていただいたり、出雲崎おけさの保存会の方々に出雲崎おけさの踊り方を教えていただいたりしました。また夏は海に行って砂遊びをしたり、秋はどんぐりや紅葉した葉っぱで遊んだり、出雲崎の自然や人と触れ合うことでたくさんのことを学んだ1年でした。



ほなみが丘探検に出発!



秋みつけた!



見て見て海がきれいだよ!



伝統! 出雲崎おけさ!!

2年 出雲崎のまちが大すき たんけんたい!



梅シロップ作り

「梅もぎ体験」や「梅シロップ作り」また「島崎川での生き物さがし」では、町の自然に触れる体験をしました。「町探検」では町の働く人に注目して地域の方に直接会って話を聞き、働く人の思いに触れました。様々な体験を通して、出雲崎町の大好きなところを発見してきました。



島崎川での生き物さがし



梅もぎ体験



町探検



3年 もっと知りたい! 出雲崎のこと ~すてき発見~

3年生は、大切なふるさと「出雲崎」について、もっと知りたいと思った場所に見学に行ったり、調べたりしました。知っているようで、よく知らなかったことがたくさんありました。良寛記念館、天領の里、磯野紙風船製造所などの見学や調べ学習を通して、出雲崎のよさや歴史や地域の方の思いを知り、自分が感じたことを発表しました。



紙風船への思い発見!



出雲崎の名産品発見!



知らなかった歴史発見!



良寛さんのすてき発見!

4年 みんなつながっているんだね ~繋ぐためにできること~

「生き物のすみか」「楽しみ」「恵み」…、川や森に出かけ、自然が私たちに与えてくれるものをいっぱい感じました。川や海は森とつながっている、森を大切にすることは、環境と生き物を守り、未来へ繋げていくことなんだと気付きました。そんな自然を、みんなの命を繋ぐため、できることを考え実行していきます。



長岡市かけはしの森



出雲崎町島崎川



小木之城跡で繋ぐ



みんなのほなみが丘



新潟市清五郎湯

5年 みんなに届け!わたしたちの思い ~星ピカリプロジェクト~

地域の方々のご協力のもと、米作りを体験しました。「収穫したお米で地域に還元したい」という思いを、小・中学校の給食への提供、地域の方へ鉢花とともに進呈、という形にして届けました。また、出雲崎の特産物であるさざえを使った炊き込みおにぎりの販売に挑戦しました。わずか10分であつという間に100個完売、そしてお客さんの笑顔に、達成感や喜びを感じました。



大きくな~れ 星ピカリ



黄金に輝く 星ピカリ



おにぎりパッケージ作りも大切な仕事



お買い上げありがとうございます!

6年 明るい未来を描こう ~ふるさとと自分を見つめて~

6年生は、生まれ育った出雲崎という町について、そして自分自身について見つめ直し、自分の将来について考えました。修学旅行で行った佐渡金山と出雲崎のつながりを知ったり、ハナモモの植樹をしたりしたことで、郷土愛を育みました。また、地域の方々を中心に人生の先輩方から様々な職業や生き方について教えてもらいました。考えさせられる言葉をたくさんいただき、自分自身の明るい未来を描く契機となったと思います。



佐渡金山と出雲崎のつながり



ほなみが丘倶楽部のみなさんへインタビュー



未来のふるさとにハナモモ植樹



警察官の仕事

出雲崎中学校の取組

ふるさとの方々から学ぶ

多くの方々から教育活動に参画していただき、様々な分野について学びを深めることができました。



4月 自転車教室



5月 グリーンカーテン設置



5月 11月 防災教室



6月 ブランチキャンパス



10月 資源物回収



10月 薬物乱用防止教室



6月 あいさつ運動



7月 12月 書写指導



11月 議会議員交流町づくり提案



11月 11月おもしろライトアクション



12月 性の指導



1月 卒業生激励



2月 良寛学習修了証「慈愛」授与式

出雲崎町の各事業所や良寛ゆかりの地を訪れ、自然、産業、文化など町の歴史や現在を学びました。

ふるさとへの愛着と誇りを育てる

職場体験学習




良寛学習



IV 社会教育事業の実施状況

1. 社会教育・公民館事業

① 青少年育成事業

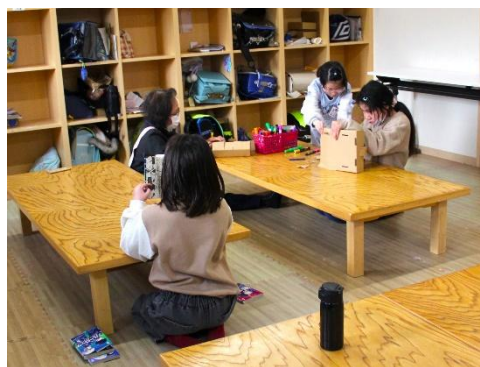
事業名	事業の対象	実施内容
出雲崎ッズ	小学生	<p>実施日 8/20 (水) 申込数 32名 目的及び内容 東京電力サービスホールへ訪問し、電気教室でエネルギーについてクイズ等で学び 展示館では、模型や展示を用いて楽しく発電所について学ぶ ことに加え、学友やとの夏休みの思い出作りを行った。</p> 
出雲崎公設学習塾 「まち塾」	中学生 小学生	<p>会場 中央公民館 目的及び内容 地域の子供たちに広く学習機会を提供する。少人数制で質問しやすい環境や、習熟度に応じたカリキュラムで、学ぶ意欲のある児童・生徒を支える。</p> <p>[5 教科学習コース] 実施回数 通年 (週 2 日 : 平日 1 回、休日 1 回) ※ 1 月から中学 3 年生は休日 2 回実施 ※ 教科 : 国語・社会・数学・理科・英語</p> <p>対象 中学 2・3 年生 ※ 夏期特別講習は、中学 1 年生も対象</p> <p>申込数 2 年生 : 10 名 3 年生 : 13 名</p> <p>[英検コース] 実施回数 通年 (月 2 日 : 土曜日) ※ 内容 : 英検対策</p> <p>対象 小学 6 年生、中学 1 年生 申込数 小学 6 年生 : 7 名、中学 1 年生 : 5 名</p>

事業名	事業の対象	実施内容
放課後児童クラブ (放課後児童健全 育成事業)	小学校 1～6年	<p>実施回数 通年(月～金放課後、第1・3・5土曜日、 振替休業日、長期休業期間)</p> <p>会 場 出雲崎小学校体育館内 児童クラブ室</p> <p>登 録 数 1年生：10名 2年生：12名 3年生：8名 4年生：6名 5年生：7名 6年生：5名 (3月末現在)</p> <p>目的及び内容 昼間保護者が不在となる家庭の児童の保護保育を 図るため、遊びや生活の場を提供する。</p>
放課後子ども教室	小学校 1～6年	<p>会 場 出雲崎小学校グラウンド、中央公民館、町民体育館</p> <p>申 込 数 1年生：4名 2年生：15名 3年生：7名 4年生：14名 5年生：13名 6年生：7名</p> <p>目的及び内容 ・地域の教育力を活かし、体験や交流、学習など 多様な活動の機会の提供 ・放課後等の安心安全な居場所づくり</p> <p>(主な内容) 野球教室、えいごあそびうた教室、英語教室 伝統文化おけさ教室、運動あそび塾、音楽あそび教室、 寺子屋教室、チアリーディング教室、柔道あそび教室</p>
公民館講座 キッズダンススクール	小学校 1～6年	<p>実施日 9/4、9/11、9/18、9/25、10/23、11/3 計6回</p> <p>イベント出演 11/3 生涯学習フェスティバル 計1回</p>

青少年育成事業活動写真



出雲崎ツズ



放課後児童クラブ



放課後子ども教室
音楽あそび教室



放課後子ども教室
えいごあそびうた教室



放課後子ども教室
柔道あそび教室



出雲崎公設学習塾
「まち塾」





キッズダンススクール



マナボー
いずもくん

②一般教育事業（成人期・高齢期の学習活動）

事業名	実施内容
出雲崎総合大学	<p>実施回数 全6回開催（歴史・文化・環境など幅広く実施）</p> <p>受講者数 19人（延参加者72人）</p> <p>実施内容 住民の学習意欲を促進し、健康で文化的な活力ある、生きがいのある生涯学習社会の実現を図ることを目的とした学習講座</p> <p>〈主な講座〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 継之助が見た日本の姿 ・ 佐渡金山と出雲崎のつながり ・ 良寛の父を訪ねて～新津の桂家に光を当てる～ ・ 誰も知らない出雲崎の魅力 <p>（講座風景）</p> <p>（第5回 いずもざき健康まちづくり座談会）</p>  <p>（第6回 誰も知らない出雲崎の魅力）</p> 

事業名	実施内容
<p>公民館講座</p> <p>フラワー アレンジメント教室</p>	<p>実施日 10/25(土) 秋色アレンジ 11/15(土) 冬じたく 12/20(土) クリスマスのフラワー アレンジメント</p> <p>受講者数 5名 講師 明田川 綾子 氏</p> 
<p>くずし字に親しむ講座</p>	<p>実施日 9/18、9/25、10/2 計3回 受講者数 14名 講師 小熊 よしみ 氏</p> 

③芸術・文化活動

事業名	実施内容
東京藝大生招致事業	<p>参加者数 東京藝術大学 大学院生 7名</p> <p>実施日 8月5日(火)～7日(木) 2泊3日</p> <p>8月7日(木)：スケッチ画鑑賞会</p> <p>内容 街並スケッチ画を制作し、完成した作品の鑑賞会と作品を町へ寄贈</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div>
第21回良寛さん 心の書道展	<p>目的 子どもたちに良寛さんの慈愛の心を継承する</p> <p>対象 出雲崎小・中学生</p> <p>応募数 202点</p> <p>展示期間 9月13日(土)～21日(日) 会場：中央公民館講堂</p> 
生涯学習 フェスティバル	<p>作品展示 11月2日(日)～11月3日(月・祝) (最終日来場者数700人)</p> <p>ステージ発表 11月3日(月・祝)</p> <p>廃棄図書無料配布(図書館)</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div>

事業名	実施内容
文化サークル 活動助成	・ 3サークルに助成 書道、ガーデニング、英会話
関係団体活動助成	・ 3団体に助成 出雲崎妻入りの街並景観推進協議会 越後出雲崎街並活性研究会 天の河俳句大会実行委員会

④学校・家庭・地域の連携事業

事業名	実施内容
学校・家庭・地域の 連携事業 (学校支援地域本部)	学校、家庭、地域が一体となって地域ぐるみで子どもを育てる体制を整えることを目的としている。 地域コーディネーターが中心となって、地域の様々なボランティア指導者や団体と協力して小・中学生を対象に活動を実施。

⑤その他事業

事業名	実施内容
公民館だより発行	毎月1回(4ページ)、公民館の活動内容などを紹介した「公民館だより」を発行し、町の全世帯に配布。町ホームページにも掲載。仕分け作業等をふれあいサポートセンターに委託している。
生涯学習 カレンダー作成	公民館、町、学校などの事業予定を掲載したカレンダーを作成し、町の各世帯や事業所に配布。(作成部数 1,800部)
生涯学習 人材バンクの推進	目的 “誰でも何かの先生になれる”を合言葉に、自分の知識や経験、特技を教えたい、役立てたい方を登録する人材バンクを活かし、生涯学習の推進を図る。 対象 一般町民

事業名	実施内容
良寛記念館事業	<p>○ 年2回の特別企画展</p> <ul style="list-style-type: none"> ・開館60周年記念 前期特別展『良寛の墨宝展』 ギャラリートーク 5月24日(土)開催 ・開館60周年記念 後期特別展 『加賀の千代尼・良寛と貞心尼師弟展ー三名の妙好人ー』 ギャラリートーク 10月26日(日)開催 <p>○ 岐阜県瑞浪市『良寛と高僧・名匠遺墨展』 11月8日(土)～9日(日)</p>  <p>○ 冬期『常設展』</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 良寛記念館応援倶楽部てまりの会会員所蔵作品展示 ○ 良寛記念館つるし雛飾り ○ ギャラリー音楽会・朗読会 2回実施(10月、11月) ○ 良寛さん絵手紙コンテスト開催 6月～8月(作品募集) 9月30日(火)審査会実施
北前船日本遺産 推進事業	<p>○ 町家展示施設企画展 「北前船日本遺産推進協議会 東北・新潟ブロックパネル展」 東北・新潟ブロックを構成する新潟県6市町(新潟市・長岡市・上越市・佐渡市・村上市・出雲崎町)のロールアップバナー展示と、秋田県5市(秋田市・能代市・男鹿市・由利本荘市・にかほ市)及び山形県2市(鶴岡市・酒田市)のポスター展を実施。</p> 

⑥施設利用状況

公民館利用者数

令和6年度 (R6.4.1~R7.3.31)		令和7年度 (R7.4.1~R8.3.31)	
海岸公民館	中央公民館	海岸公民館	中央公民館
2,115人	14,290人	1,978人	13,853人

良寛記念館入館者数

令和6年度 (R6.4.1~R7.3.31)	令和7年度 (R7.4.1~R8.3.31)
5,560人	5,197人

北国街道妻入り会館入館者数

令和6年度 (R6.4.1~R7.3.31)	令和7年度 (R7.4.1~R8.3.31)
7,072人	7,063人

歴史や五郎兵衛入館者数

令和6年度 (R6.4.1~R7.3.31) (12月~2月休館)	令和7年度 (R7.4.1~R8.3.31) (12月~2月休館)
879人	607人

寄港地の町家入館者数

令和6年度 (R6.4.1~R7.3.31) (12月~2月休館)	令和7年度 (R7.4.1~R8.3.31) (12月~2月休館)
1,318人	1,327人

2 図書館事業

①図書館利用状況について（3月末日現在）

表1：分類別利用状況

	令和6年度 (R6.4.1~R7.3.31)		令和7年度 (R7.4.1~R8.3.31)	
	海岸公民館	中央公民館	海岸公民館	中央公民館
総記	19冊	7冊	14冊	3冊
哲学	48冊	28冊	51冊	23冊
歴史	53冊	12冊	49冊	3冊
社会科学	86冊	30冊	83冊	4冊
自然科学	114冊	27冊	67冊	14冊
技術	119冊	10冊	71冊	7冊
産業	39冊	6冊	30冊	6冊
芸術	53冊	21冊	62冊	5冊
言語	8冊	9冊	6冊	1冊
文学	1,827冊	581冊	1,891冊	509冊
絵本・紙芝居	552冊	219冊	474冊	115冊
雑誌	100冊	12冊	67冊	7冊
計	3,018冊	962冊	2,865冊	697冊

※ 年度別貸出冊数

令和5年度	令和6年度	令和7年度
4,515冊	3,980冊	3,562冊

表2：図書貸出年齢別貸出人数

	令和6年度 (R6.4.1~R7.3.31)		令和7年度 (R7.4.1~R8.3.31)	
	海岸公民館	中央公民館	海岸公民館	中央公民館
一般（23歳以上）	951人	306人	900人	246人
学生・生徒 （13歳～22歳）	23人	0人	28人	1人
児童（12歳以下）	105人	26人	75人	7人
合計	1,079人	332人	1,003人	254人

※年度別貸出人数

令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度
1,559 人	1,411 人	1,257 人

表 3 : 貸し出し以外の図書館利用人数

	令和 6 年度 (R6.4.1~R7.3.31)		令和 7 年度 (R7.4.1~R8.3.31)	
	海岸公民館	中央公民館	海岸公民館	中央公民館
一般 (23 歳以上)	266 人	55 人	179 人	27 人
学生・生徒 (13 歳~22 歳)	124 人	1,830 人	90 人	913 人
児童 (12 歳以下)	66 人	9 人	51 人	4 人
合計	456 人	1,894 人	319 人	944 人

※年度別図書館来館者総数

令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度
3,343 人	3,761 人	2,520 人

表 4 : 図書購入状況

	令和 6 年度 (R6.4.1~R7.3.31)		令和 7 年度 (R7.4.1~R8.3.31)	
	海岸公民館	中央公民館	海岸公民館	中央公民館
総 記	3 冊	0 冊	3 冊	0 冊
哲 学	5 冊	0 冊	6 冊	0 冊
歴 史	10 冊	0 冊	7 冊	0 冊
社会科学	29 冊	0 冊	20 冊	0 冊
自然科学	18 冊	0 冊	17 冊	0 冊
技 術	21 冊	0 冊	19 冊	0 冊
産 業	7 冊	0 冊	3 冊	0 冊
芸 術	6 冊	0 冊	13 冊	0 冊
言 語	2 冊	0 冊	2 冊	0 冊
文 学	293 冊	68 冊	326 冊	56 冊
絵本・紙芝居	101 冊	11 冊	96 冊	12 冊

計	495 冊	79 冊	512 冊	68 冊
(雑誌種類)	7 種類	1 種類	7 種類	1 種類

※年度別購入冊数

令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度
622 冊	574 冊	580 冊

②第 2 次出雲崎町子ども読書活動計画の推進

子どもの健やかな成長のために身近な家庭、地域、学校等はもとより、社会全体で子どもの読書活動を推進していくことがますます重要となっている。

令和 5 年度から令和 9 年度の 5 年間の計画期間とする第 2 次出雲崎町子ども読書活動推進計画に基づき活動を実施した。

③その他事業

事業名	実施内容
ブックスタート事業	1 歳 6 ヶ月になる児童に絵本 3 冊を贈呈。
除籍図書の無償配布	11 月 3 日の生涯学習フェスティバルにおいて除籍した図書を無償で配布。
県立図書館図書の貸出	県立図書館からセット図書として 100 冊単位で借り受け、放課後児童クラブに貸出。(年間 2 回実施)
良寛さんコーナー	今まで海岸公民館だけの設置であったが、令和 4 年度から中央公民館でもコーナーを設置。

3 社会体育事業

①町内大会

大会名	実施日	備考 今年度(昨年度)
町民登山	6月1日(日)	五頭山：中止 (五頭山：中止)
第47回 町民バレーボール大会	6月22日(日)	6チーム 56人 (6チーム 57人)
第44回 町内杯ゲートボール大会	10月7日(火)	4チーム 27人 (5チーム 32人)
第36回 町民ソフトバレーボール大会	11月16日(日)	12チーム 59人 (10チーム 56人)
第10回 町民卓球大会	12月7日(日)	6チーム 43人 (6チーム 41人)
第39回 屋内杯ゲートボール大会	2月3日(火)	4チーム 22人 (5チーム 32人)
第45回 町民バドミントン大会	3月15日(日)	中止 (中止)



町民バレーボール大会



町内杯ゲートボール大会

②体力づくり事業

(実施場所：町民体育館2階トレーニング室・中央公民館1階講堂・2階大広間)

事業名	実施日	備考 今年度(昨年度)
気軽に体操教室	5月～2月 全20回	申込：13名 延べ156人 (申込：20名 延べ218人)

③スポーツ教室等

大会名	実施日	備考 今年度(昨年度)
さわやかスポーツ教室	通年(火) 全21回	申込：9人 延べ：86人 (申込：18人 延べ：198人)
いきいき体操教室	5月～12月 全18回	申込：8人 延べ：75人 (申込：8人 延べ：115人)
ストレッチポール教室	5月～12月 全30回	申込：29人 延べ：270人 (申込：27人 延べ：306人)
テニス教室	5月～11月 全18回	申込：22人 延べ：259人 (申込：15人 延べ：212人)
わくわく水泳教室	7月28日～8月1日 全5回	申込：25人 延べ：110人 (申込：29人 延べ：125人)
小学生スポーツチャレンジ教室 (バレーボール)	6～12月 全22回	申込：14人 延べ：252人 (申込：11人 延べ：171人)
リズム体操教室	8月～12月 全12回	申込：10人 延べ：79人 (申込：12人 延べ：78人)
スキー&スノーボード教室	1月18日(日)	28人(29人)



テニス教室



小学生スポーツチャレンジ教室
(バレーボール)

④体育協会主催事業

事業名	実施日	備考 今年度(昨年度)
姉妹都市交流事業 親善スポーツ大会	9月27日(土)	会場：出雲崎町 70名 ソフトバレーボール・野球 (会場：柳津町 59名)
第24回 出雲崎町近郷ゲートボール大会	3月3日(火)	55人(60人)

⑤スポーツ推進委員関係

事業名	実施日	備考
中越地区社会体育研究協議会	4月24日(木) 3月17日(火)	長岡市 3月書面表決
北陸地区スポーツ推進委員研修会	6月28日(土) ・29日(日)	富山県魚津市
新潟県スポーツ推進委員大会	9月6日(土) ・7日(日)	十日町市
中越地区社会体育総合研修会	10月4日(土)	津南町
全国スポーツ推進委員研究協議会	11月13日(木) ・14日(金)	長野県長野市ほか
二市三刈羽ブロック研修会	12月6日(土)	柏崎市



二市三刈羽ブロック研修会

⑥長岡地域定住自立圏スポーツ振興事業

専門指導者活用事業

① 5月～12月(水) (いきいき体操教室で実施) 申込：8人 延べ：75人

⑦いずもぎきマラソン支援事業

いずもぎきマラソン'25

10月26日(日) 参加者373人

⑧スポーツマイルージ事業

町民体育館利用者にポイントを付与し、ポイントがたまると町内のお店で使える商品券と交換する事業 参加・登録者数→237名 特典達成者→187名

⑨体育施設利用状況

	令和6年度 (R6.4.1～R7.3.31)	令和7年度 (R7.4.1～R8.3.31)
町民体育館	25,601人	24,753人
(トレーニング室)	(9,311人)	(9,121人)
町民野球場	2,913人	3,640人
多目的運動場	1,753人	1,707人
プール	3,731人	3,298人
柔道場	47人	74人
屋内GB場	2,731人	2,818人
計	36,776人	36,290人

>概要

青少年や一般成人等を対象とした各事業について、活動が活発化してきた。次年度以降も学習意欲の高まりや多様化に対応できるよう内容の一層の充実を図っていく。

>成果と課題

- 1 文化教室の受講者は高齢者が主であり、定期的に出かける場となることで孤立を防ぎ、仲間づくりにつながるのので有効なものと考えている。一方、参加者の高齢化や固定化により新規参加者が少ないことや若者参加の掘り起こしを行い、今後もニーズを捉えた教室開催が望まれる。

- 2 第3次生涯学習推進計画により、町民の誰もがいつでも、どこでも、生涯を通して自分らしく自主的に学習することができ、楽しみや生きがいの発見などにつながるよう生涯学習を推進していく。
- 3 放課後児童クラブの運営では常に定員を超える申込みがあり、現在のクラブ室では手狭なため校舎の空き教室を活用し、支援員の増員を行い平日、長期休業に利用者のニーズにあった運営を行っている。
- 4 インターネットやスマートフォンの普及により読書離れが進んでおり、子どもたちの健やかな成長には読書を推進していくことが重要で、子ども読書活動推進計画により学校・家庭における読書推進を図らなければならない。
- 5 ネット社会の進展により、子どもたちのネットいじめ、ネット依存などメディアコントロール力を高めることが課題である。家庭内でのメディアやゲーム機の決め事を話し合っ、子どもたちの心や行動に影響しない取組を継続していかなければならない。
- 6 町のシンボルであり重要な観光拠点でもある良寛記念館の発展に寄与することを目的とした組織「良寛記念館応援倶楽部てまりの会」は、設立から5年目を迎え、入会者も予定を上回り盛会であった。次年度も引き続き充実した活動を図っていく。
- 7 伝統芸能の育成は団体に働きかけ行いながら、一方で青少年育成講座などの教室で興味を持ってもらう動機付けが必要であるので、指導できる体制づくりをめざす。
- 8 令和4年度に開塾した公設学習塾「まち塾」は、4年が経過した。さらに令和6年度からは、「英検コース」を新設し、英語力と学習意欲を高めることをねらいとし指導を行った。
- 9 町民のニーズにあったスポーツ活動の機会を町民と協働で実施していくことや現在行っている大会やイベントを一層充実していくことが重要で、そのために町民に知ってもらえるような情報発信の工夫が必要となっている。
- 10 家庭教育は自制心、自立心等を育成する大切な役割を果たすため、子どもの発達段階に応じた家庭教育に関する学習機会の提供や親が家庭教育に関して気軽に相談でき、家庭・学校・地域が連携し、地域全体で子育て家庭を支援していく体制づくりが必要である。

V 学校・社会教育施設の整備充実

<p>▶整備の状況</p>	<p>1 学校教育施設の主な整備状況</p> <ul style="list-style-type: none">○ 小・中学校校舎棟照明 LED 改修工事○ 小学校高圧引込ケーブル交換工事○ 小学校駐車場舗装修繕工事○ 小学校給食室エアコン設置工事○ 中学校気中開閉器交換・接地抵抗改修工事○ 中学校美術室内壁修繕工事○ 中学校給食下処理室出入口風除室設置工事 <p>2 社会教育施設の主な整備状況</p> <ul style="list-style-type: none">○ 中央公民館屋外ウォーキングロード設置（その2）工事○ 中央公民館車庫シャッター修繕工事○ 海岸公民館事務室空調改修工事○ 海岸公民館図書館照明 LED 改修工事 <p>3 社会体育施設の主な整備状況</p> <ul style="list-style-type: none">○ 町民体育館ミーティングルーム空調設備改修工事○ 町民体育館2階照明 LED 改修工事○ 町民体育館ほか敷地内駐車場ライン塗替工事
---------------	--

▶概要

本町の学校教育施設や社会教育、社会体育施設等の整備は、計画的に進めてきており、それぞれの施設の大規模改修などの整備は概ね完了している。本年度は施設の省エネ化や利用者の利便性向上を中心とした改修などを行った。

▶成果と課題

本年度は、新潟県統合型校務支援システムを本格稼働させた。本システムの導入により、教職員の負担の軽減と切れ目のない支援の実現を図られた。

また、小・中学校の校舎棟照明 LED 改修工事を行い、省エネによる経常経費の削減及び今後の修繕費用の軽減が図られた。今後も年次計画により工事を進め更に LED 化を図っていく。

小学校給食室において、近年の異常気象による暑さ対策としてエアコンの増設工事を行った。今後も労働環境の改善を図っていく。

GIGA スクール第2期の1年目となった本年度は、ネットワーク環境調査を行った。この結果を踏まえ、次年度以降ネットワーク環境の改善を図っていく。

社会教育・体育施設では、ミーティングルーム空調設備改修工事や照明 LED 改修工事のほか、駐車場のライン塗替えを行い、利用者にとって快適と感じられる環境を整備することができた。今後も定期的に点検を実施し、施設を利用者が安心安全に利用できることに加え、利用率向上を意識した施設整備を進める。

厳しい財政状況の中、老朽化する施設の維持管理については、年次計画を立てた中で、更新・改修・整備等を図り、長寿命化などに対応していかなければならない。

Ⅵ 学識経験者からの総合評価

元長岡市立東中学校長 佐藤 忠弘

令和7年度は、「学びの楽しさ、心の豊かさで生きがいのもてるまちづくり」を基本目標とする第3次出雲崎町生涯学習推進計画の5年目にあたる。

「令和7年度教育計画」において、曾根教育長は、「令和の生涯学習社会の実現Ⅲ」と題し、学校教育の重点を「望ましい人間関係構築からの学力向上」、社会教育の重点を「学んだことを活かすことで、さらなる学びに発展させる」を掲げ、具体的な指標を焦点化して示した。

したがって、本年度も学校教育と社会教育の2つの視点から、本年度の成果と今後の課題について整理したい。

学校教育においては、小・中学校ともに、「知・徳・体」の調和のとれた成長を目指した視点から、児童生徒、保護者、教職員へのアンケートを基に、継続的な評価と改善を重ねている。小学校の児童アンケートでは「学校が楽しい」「授業が分かる」「進んで学習できる」「友達にやさしい言葉をかける」等に90%以上の児童が回答し、中学校においても、「自己肯定感・自己有用感」「豊かな人間関係づくり」のA評価が、生徒の自己評価、教師の視点からの評価、いずれにおいても多く見られた。昨年度課題だった「全国学力学習状況調査結果」については、本年度は小・中学校ともに全国平均、県平均を上回った教科が多く、教育長が示した「望ましい人間関係構築からの学力向上」の具体的成果の表れと評価できる。また、地域の物的、人的資源を活かし、誇りある出雲崎の歴史や文化を学ぶ機会を工夫した取組も評価できる。多彩な「学校支援地域本部事業」の活動や、外部講師を招いての地域学習にも工夫が見られた。小学校6年生の「北前船の歴史学習や船旅の安全祈願となった船絵馬づくり」は新聞（2026.1.30付新潟日報）でも大きく取り上げられた。授業改善にたゆまぬ努力を続ける教職員、学校教育に惜しみない支援の手を差し伸べる地域の方々に改めて敬意を表したい。

社会教育においては、近年の少子高齢化の進展、デジタル機器の著しい普及等により、公民館や良寛記念館、図書館等の利用者数が減少している。そうした中、5年目を迎えた「良寛記念館応援倶楽部てまりの会」の入会者の増加、「ブックスタート事業」の推進に加えた「セカンドブック事業」の導入検討等は高く評価したい。町民への生涯学習の機会を工夫する努力を重ねる担当者の皆様に感謝したい。また、「出雲崎公設学習塾『まち塾』」や「放課後児童クラブ」、「放課後子ども教室」への登録参加者が増大し、施設設備や支援者確保等の運営上の課題に苦慮しながらも、充実への工夫に尽力されていることに敬意を表したい。

これからの出雲崎町教育の推進にあたり、町長から、人口減少に伴う急激な少子化や小中学校の校舎老朽化等に関する課題解決の方途が求められた。そのため「地域と共創する学び舎」の整備検討に向け、「町立学校の在り方検討委員会」を設置したと聞く。将来の出雲崎町の教育振興を見据え、貴重で有限な資源を最大限に活用した新たな学校の形を創造していかれることを切に願ってやまない。